

正 誤 表

「機能性消化管疾患診療ガイドライン 2014－機能性ディスペプシア（FD）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
xvi	フローチャート右下部 「機能性ディスペプシア 疑いの治療」	<u>エビデンスレベル A のもの</u> を初期治療に、それ以外を第二段階の治療選択肢とし、使用してもよい薬剤とした	<u>推奨の強さ 1（使用することを推奨する）のもの</u> を初期治療に、それ以外を第二段階の治療選択肢とし、使用してもよい薬剤とした
xvi	注 4	注 4：二次治療の薬剤も状況に応じて使用してもよい。ここでは <u>エビデンスレベル A のもの</u> を初期治療に、それ以外を二次治療とし、使用してもよい薬剤とした。	注 4：二次治療の薬剤も状況に応じて使用してもよい。ここでは <u>推奨の強さ 1（使用することを推奨する）のもの</u> を初期治療に、それ以外を二次治療とし、使用してもよい薬剤とした。
xvii	フローチャート左下部 「機能性ディスペプシア」	<u>エビデンスレベル A のもの</u> を初期治療に、それ以外を第二段階の治療選択肢とし、使用してもよい薬剤とした	<u>推奨の強さ 1（使用することを推奨する）のもの</u> を初期治療に、それ以外を第二段階の治療選択肢とし、使用してもよい薬剤とした
xviii	注 4	注 4：二次治療の薬剤も状況に応じて使用してもよい。ここでは <u>エビデンスレベル A のもの</u> を初期治療に、それ以外を二次治療とし、使用してもよい薬剤とした。	注 4：二次治療の薬剤も状況に応じて使用してもよい。ここでは <u>推奨の強さ 1（使用することを推奨する）のもの</u> を初期治療に、それ以外を二次治療とし、使用してもよい薬剤とした

2014 年 4 月 21 日

株式会社南江堂